### substr()

元の文字列から指定した位置の部分文字列のみを返します。文字列以外の値を受け取った場合は、文字列に変換した後に評価します。

#### 構文

substr(STR\_EXPR, B\_INDEX[, E\_INDEX])

**STR\_EXPR**

元の文字列式。式がnullの場合はnullを返します。

**B\_INDEX**

返す部分文字列の開始文字インデックスです。インデックスは「0」から始まります。負の値の場合は文字列の末尾から計算します。開始位置が文字列の長さより大きい場合はnullを返します。

**E\_INDEX**

返す部分文字列の終了文字インデックスです。インデックスは「0」から始まります。省略した場合は文字列の末尾までを意味します。負の値の場合は文字列の末尾から位置を計算します。終了位置が文字列の長さより大きい場合は、開始位置から文字列の末尾までを返します。

#### 使用例

json "{}" | eval partion\_str=substr("0123456789", 2) => "23456789"json "{}" | eval partion\_str=substr("0123456789", -2) => "89"json "{}" | eval partion\_str=substr("0123456789", 0, 3) => "012"json "{}" | eval partion\_str=substr("0123456789", 4, 12) => "456789"json "{}" | eval partion\_str=substr("0123456789", 5, 5) => ""json "{}" | eval partion\_str=substr("0123456789", 10, 11) => nulljson "{}" | eval partion\_str=substr("0123456789", -1, 11) => "9"json "{}" | eval partion\_str=substr(null, 0, 3)=> null